

## 第2回将来ビジョン検討会での各グループからのご意見 要旨

## Aグループ

田中委員、中野委員、榊野委員、山本委員

ファシリテーター 地域課 小林課長、書記 住民情報課 山尾課長

- ・前回の意見をうまく生かされて、修正、軌道修正するところはしたということで、非常に綺麗なまとめり方をして、模範的に項目を網羅されている。
- ・これが、住吉が例えば阿倍野に変わっても全然違和感がないことだと思うが、そういう意味では標準的なものをお作りになったのかなと。
- ・1つ残念なのは、住吉ならではという項目が消えたのではないかというふうな印象。
- ・前回の素案の提示にあった、地域資源の活用の中で、歴史とか文化とか、住吉ならではというところが取り入れられるなど思っていたが、それが見事に消えてしまって非常に残念に思うところ。
- ・成果指標について、区民意識調査の聞き方にもよるが、その成果が、そのまま意識調査の%に結びつくのが非常に難しいという項目がある。その評価をそのまま受け取って、評価をするというのはアンマッチになるという項目が結構あると思う。%の割合ではなくて、実施件数や実施した時のアンケートの数値で見た方がいい。何が何でも、区民意識調査の%でやるというのはどうかと思った。
- ・ホームページの使い勝手の項目が出てこなかった。区政運営の充実というところで、さらに突っ込んでいただいてやってほしい。ホームページは、作った側はほとんど見ない。住吉区役所の職員で、住吉区のホームページを日常的に見ている方が、失礼ながらあんまりいない。区民は見るのがあって、自分の欲しい情報が、すんなりとはたどり着けないというところがある。住吉区外に住んでいる若手の職員にホームページを見てもらって、実際にわかりにくいとか、そういう評価をしっかりとやって、使い勝手の向上を本格的に取り組んで欲しい。
- ・若い人は、パソコンよりもスマートフォンでホームページをご覧になる方も多いだろうから、スマートフォン用のホームページを作るべきではないか。
- ・地域資源のところについては、1-①の対応策「地域の魅力」に包含された。(小林課長説明) →そういうふうには見えなかった。
- ・件数について、例えば1-③や1-④で、12地域や1件以上などの成果指標を立てている(小林課長説明) →それをもっと増やして欲しい。
- ・区民意識調査の結果がとても面白い。住吉区はみなさん便利だと思っている。とても暮らしやすいつて思っていて、インフラが整っていて素晴らしいとみんな感じているというのが読み取れた。30代以下と40代以上で結構意見が分かれているなど思った。例えば問6で、最も力を入れるべきですかっていうところで、心地よく暮らせるまちづくりは、40代以上がほとんど答えている。対して、こども若者支援に関しては、30代以下がほとんど答えている。問6のところ、40代以上の方が、こども若者の支援にあんまり興味がないように、この結果だけを見るとちょっと見えてしまう。区民意識調査の結果が、町会の話とか、そういったところに出てきているのかなと思う。それをさらに一步深めると、それぞれが多分自分事になっていないのじゃないかなと思う。例えば安心安全でいうと、若者って興味がないような感じで区民意識調査からも結果が出ていた。自分自身も、柱の2番目の1、2、3とかってあんまり興味がない。正直健康であるし、災害時に逃げることができるし、子育て世代ってこのことに興味がない。当然、高齢者の方は自分のことに興味があって、子育て世代は、子育てのことに最も興味があるから、率的にはこういうふうになっているのだろうと思う。ただ双方関係がある。こどもが元気がないと、先細りになっていく。年金で支えることができなくなるし、まちの活力もなくなっていくとい

うことで、高齢者の方にとっても大事なことだと思う。安全安心のところと言うと、これもコミュニティのことにも関わってくるが、結局顔見知りじゃないと、災害時に双方助けられないっていうことを考えていくと、若者も自分ごとで考えられるんじゃないかなと思った。一定の年代の方だけに響くような目的と読み取られないような内容のものになればいいなと思う。

- ・区民意識調査結果について、30代以下と、40代以上で意見が分かれている傾向があるので、全体の意見として、将来ビジョンを作っていただきたい。

- ・空き家対策の推進について、1本目の柱と2本目の柱どちらにも関わってくると思うが、書きぶりに2本目の柱にあるということは、危険空き家の対策方向で書かれているのかなと思った。空き家対策は、大きく2あって、危険空き家に対しての対策と、地域の資源、地域の活力のために使うのと、どちらもあると思う。そのどちらもが、ちゃんと読み取れる方向になればいいなって思った。場所によって、誤解を招かないような表現になっているといいな。利活用の面でいくと、不動産と協力していくと、どうしてもそのレイنزに乗ってオープンになる。商品になってしまうと、基本的に空き家を活用する人ってそんなに資本がないはずなので、そういう人に対してきめ細かい支援するみたいなのが1本目の柱とも関わってくると思うが、そこまでできるのかどうか。空き家の持ち主への支援や、活用側への支援や仲介の不動産会社への支援が必要。その地域の活性化であるとか、危機管理的な、どちらの側面もあるので、ちょっとジャンルが違うというか、所属が違う部署が違ってくる部分もあると思うのでその連携がうまくいくといい。

- ・DXの活用の話もあったが、ChatGPTとか、そういうものをどんどん取り入れていっていただけたらいい。

- ・ホームページをたまに見るが、あまり更新されてないのが実情。できるだけ新しいものに更新していただけたらと思う。

- ・将来ビジョンは、非常によくまとまっていると思う。

- ・住吉の特徴をとらえた内容になっていない

- ・新婚補助は前にあった。結構よかったのに、なくなってしまった。

- ・以前高石市で働いていて、新婚補助をやっていた。やった結果、不動産の価格が補助の分だけ上がった。補助が終わり次第、皆引っ越していくことがあって高石市は事業を凍結した。

- ・歴史があるっていうところを当然にうたいつつ、歴史はどの町にもあるから、その町ごとにこういう歴史があるから、今こんな町ができ上がっているっていうことを、何か今につなげることっていうのも大事なのかなと思う。歴史的なものがあるっていうことは、昔から人が住んでいた場所なんだろうし、だからこそ暮らしやすさがある。昔から今につなげることが大事。だからそれは、魅力になっていくのかなと思った。「その町だけの」ってすごく難しい。それなら、USJの方が面白いんじゃないとか、神社の規模なら島根の方はそうじゃないとか、結局大きさ、歴史の長さ比べをやると、どうしても負けてくるので。よかれ悪かれっていうのがあるから、そこに住んでいる人たちの魅力みたいなのは、大事なのかと思う。そこが1本目の柱に関わってくる。基本的に運営は当然民間でまわしていかないといけない。行政に手伝っていただけるとしたら、例えば、占用許可であるとか、法令的な緩和であるとか、或いは広報的なこと。そういうところで、ご協力いただくっていうのがすごくいいことなんじゃないかなと思う。そういうところがすごい手厚い。こういう面白い人たちがいてその面白い人たちがこんなイベントをやっている、その土台にあるのは、住吉にこういう歴史があるからなんだよみたいなことをまとめて出せたらすごくそれって魅力的だと思った。

- ・初詣の時に住吉大社に、200万人以上来られる。それだけ集客力がある。それが3日間で終わらせてしまうっていうのが、誠にもったいないなと思っています。それを活かすべき地域資源を持っている。帝塚山古墳も登れる。登ると上から前方後円墳っていうのが綺麗に見える。現実に生きているものが、見られるというのは学童にとってはものすごい学習素材。活かすべきものがいっぱいある。発信ができていない。ホームページから見られるようになっていない。地域の資源があるというのを、どんどんホームページで、公表して周知していただければ。

・チラシ、ポスターもご覧になっている方も多いので、若者の方々にも見ていただけるような目を引くようなインパクトあるチラシやポスターにしていきたい。

## Bグループ

佃井委員、浜田委員、濱本委員、東委員

ファシリテーター：保健福祉課 小西課長 書記：仲間主幹

- ・新しいマンションとか、広報紙が来ていないというようなことを聞く。広報紙を見たら、どんなイベントをしているかよくわかる。
- ・街灯は町会の会費から払っている。監視カメラも地域で置いているものもある。町会に入っていない人は、それを分かっていないのではないか。
- ・町会に入っておかないと、80年、90年も生きるのに何にも情報が入ってこないのは、隣近所との繋がりが全然なく、そのまま死んでいくのは情けないと思う。ちょっと考え方が古いと思うが。
- ・地域活動協議会ができた加減で、住んでいたら全員が一定の地活協からの恩恵を受けられる部分と、町会に入っていて町会の会員でないと受けられる恩恵の部分の差がなくなってきている。町会に入っていないなくても、地活協から敬老の祝いとか色々あるので、町会がぼやけたなっているのは、この10年ですごく思う。
- ・将来ビジョンの中身は、言葉としてすごい大ざっぱ。具体的な方策が載っていないので何とも意見を言えない。どう反映していくか載っていない。このあとに、方策を入れないと分からない。町会の取組は、全然広報に載っていない。町会のよさとか町会の仕事の紹介が全然ない。町会のよさ、町会がいるという理由を知らしめないといけな。町会長さんは大変、それを知らずに文句を言っている。すごく不親切なアンケートのとり方、設問のやり方だと思う。オンデマンドバスとかシェアサイクルの話で、アンケートをやった結果、否定的な意見が多かった。新しいことをやるよりも、もっと地に足ついた住吉らしいことをやるべき。流れに乗って行って、やっていこうみたいなことじゃなくって、ほんわかした人間関係作りをどうしたらいいのかなとか、そっちに目を向けたらいいと思う。例えば単純に、あいさつ運動をしようとか。あいさつをしたら、悪いことしようとする人もしなくなる。地道な古くからあるようなことをしていったらいいと思う。これには入っていない。
- ・相談する窓口を知ることができるか、困ったときに、区民が情報を取りやすくするっていうところが全般通じてあるのかなと。おそらく最後の1枚に繋がっていて、つまるところ、来庁者に対する窓口サービスの評価のところを、いかに上げてくるかっていうところに、繋がってくるのかなと思う。空き家のことにしても、人が住んでいる家で、瓦が落ちそうな家があって、家主にかけあっても知らないと言うし、空き家でもないし、役所のどこに聞いてもぱっとした答えがやっぱり得られない。中々、答えにいきつけない。
- ・私自身子育てをしていて、保育所探そうと思ったときに、各保育所の特徴を調べようと思ったら、自分の足で稼ぐしかない。0歳児を抱えて各園を回るのが非常に苦労した。そういう情報も、ここへ行けばある程度の特徴が一遍に情報が得られたらいいのになっていう自分の経験があったりする。困った時に、最終答えに行き着くまでのチャット式のツールがあれば。せめて役所のある窓口に行ったら、その問題やったらここに行ったらいいよっていう窓口があるとか、そういうのがどこかに1個打ち出せばいいなって思いました。
- ・わからないものは、まず区役所に電話する。そこから、区役所が振り分けてくれたらいい。
- ・地域で1個のことを決めるのに時間がかかる。何年かかるものもある。手と手を取り合っていていけない。行政の方に入ってもらって、ナチュラルにできないのかな。みんな犯罪がないほうがいいし、みんな差別がないほうがいいし思っているのは一緒。みんなで仲良くしよう的な、そういうのがあるとうれしい。
- ・オンデマンドバスの、イメージそのものがみんなよくわかっていない。答え方もわからなかったんじゃないかなって。カタカナにすると高齢者が分からない。高齢者の方も障がいのある人も、わかりやすい言葉がいい。シェアサイクルではなく貸し自転車がいい。
- ・この将来ビジョンは分かりやすいけど、詳しい取り組みが分からない。

- ・このDXって何の略ですか。デジタルトランスフォーメーションは、もうちょっとわかりやすい日本語だったらいいな。
- ・パブリックコメントの時に、あいさつ運動のことを入れてもらうように書いたらいいのかな。
- ・多様性だとか、暮らしやすい街になったらいいなっていうのは、みんなで仲良く取り組むよというように、感じられるような表現があってもいいのではないかな。

## Cグループ

辻野委員、桶土井委員、島谷委員、菅原委員、和田委員

ファシリテーター 教育文化課 山田課長、書記 保健福祉課 福田課長

- ・(区民意識調査) 問12の町会に加入していない理由については、PTA活動に置き換えてもほぼほぼ一緒のような回答になっていると思う。なり手不足についても、人間関係や仕事で時間的余裕が無いという意見をよく聞くため、町会も一緒だなと改めて思った。
- ・(区民意識調査) 問8の参加したい地域の行事について、文化・スポーツに関する行事・活動には22%の人が参加したいと回答しているため、こういうことを地道にしていくのが大切だと思った。また、参加したいと思わないという方も43%いるため、全くそういう活動はしない方が一定数いるんだと思った。
- ・(区民意識調査) 問4の住吉区に継続居住したい理由について、地域のつながりがあるからと回答する人が9.7%おり、そういった人たちを大切にしていきたいと思いつつながら、つながりをどのようにして作ってあげればいいのか悩ましい。
- ・(区民意識調査) 問12について、人間関係がわずらわしいという回答が多いのは衝撃だった。
- ・(区民意識調査) 問2、問4について、住吉区を居住地に選んだり、今後も住み続けたいと答える人の理由として、交通機関や買い物が便利といったハード面の理由が多い一方、子育てや防犯・公的サービスといったソフト面の回答数が低いのが気になった。長い目で見れば、子育て世代を大事にして子育てをしてもらって人口を増やし、地域活性化につながるような努力をしていかなければいけないと思う。
- ・1-③について、連携や協働が行われている地域が2028年までにすべての地域にするということが目標だと思うが、連携やっていますと言いながら、連携になってないという場合が結構あったりとかよくあることだと思う。何件やっているかっていうよりは、たとえ1件2件でも、内容が充実し、次につながるようなものであればいい。全地域で〇〇というような目標にすると、1つ1つの質は置いておいて、とりあえずすべての地域が連携することが大事、という風になってしまうのもよくないと思う。すべて数値目標じゃなくてもいいのかなと思う。
- ・1-④の成果指標(毎年度1件以上)について、市民の人が見たときに、「少ないな」という印象を覚える可能性がある。「何件ありました」という数値よりは質。「どんな内容の連携をするか」みたいなことが年度の中で総括されたらいいかなと思う。
- ・(区民意識調査) 問3について、継続して居住したい割合が84.3%というのがすごく高いと感じた。結果と数字だけ見たら良い結果なのかなと思うが、統計調査した時に一定割合以上、肯定的な回答が出ないというのは当然あるので、85%くらいからほぼこれ以上上がらないぐらいの結果になると思う。
- ・(区民意識調査) 問12の人間関係がわずらわしいについて、若い人も含めて、関りたいなと思えるコミュニティのあり方が変わっていきつつあると思う。そういったことについて意見交換できたらありがたい。
- ・シェアサイクルやオンデマンドバスについて、利用しない件数はかなり高いが、使ったことが無い人が使いたいと思わないというのは一般的な傾向だと思う。だから、今のニーズにこたえるだけじゃなくて、潜在的なニーズに先回りして答えていくというのは行政課題としてあってもいいのかなと思った。
- ・子育てサロンを開いているが、やっぱり小さいお子さんを持った方が親同士のつながりを作るために一生懸命来ている。そういうのをもっと発展させるのは一つの手かと思う。
- ・地域としては長居だが、小学校区としては大領となるというようなミスマッチがあり、行事に参加しにくい状況がある。地域の見直しというのは、我々地元の間ではなかなかできないため、難しいとは思いますが、行政から一言助言いただけると嬉しい。地活協作した時にきっちりして欲しかった。

- ・(区民意識調査) 問4の住吉区に継続して居住したいと思う理由について、交通の便、買い物の便だけが理由ではないと思う。近所を見ている、親がいたら子どもがいて、孫もおんなじ学校でというように、世代が変わっても住んでいるというように、すごくいい雰囲気ではないかと思う。
- ・町会加入の件について、お年寄り顔の見える関係作りができてから、入ってくださいと言ったら気軽に入ってくれるかなと思う。若いお母さん方は、スマホやパソコンを見たりしたら、いろんな情報が得られるということで断られる部分が多い。また、コロナもあって、繋がりもできなかったという状況もあるため、町会加入する人がだんだん減ってきていて、大変だなという思いはしている。
- ・すごくよくまとめられていると思う。これを具体的にどう実行していくのが問題だと思う。大人が子どもに夢を持つと言うが、まずは大人が楽しんでいる様子を見せることが必要なのではないか。住吉区でもこれから様々な行事があると思うが、まずは自分たちが楽しむ意識を持つことが大事ではないか。
- ・お子さんがしんどい方もいらっしゃるので、こどもの居場所づくりの支援という言葉を入れていただいて嬉しい。
- ・学校の中でもすごく大変な状況が続いており、先生方もお忙しいなか、子どものことだけでなく親御さんや家庭のことまでケアしながら授業を進めていかなきゃいけない、キャパオーバーになっている部分もたくさんある。そういったところがしっかりとサポートできるような体制が、言葉だけでなく実際にできていけばいいなというふうにする。学校教育活動を円滑に進められるようにしてもらいたいと感じた。
- ・1-②の対応策について、読まれた方が自主財源の確保という文言を「自分たちで何かして確保してくださいね」と、公的支援やりませんよというふうに読まれないように書いた方が良いと思う。
- ・2-①の課題について、区政委員からの指摘を受けて、社会的弱者を社会的少数者と修正しているが、前回の指摘の趣旨は、「社会的弱者がいて強者が存在してしまう、そもそもの社会の在り方が問われるべき」という趣旨であったため、本質は変わっていない。なぜ不利な状況に追いやられる人がいるのかという、社会の問題視するべきところが見えにくくなっているのではないかと。社会的少数者という言葉は工夫してもいいかなと思う。
- ・2-③成果指標について、「向上したと感じる」という目標を掲げている以上ずっと、右肩上がりになっていないといけない。一定その地域の防災力備わっている状態だったら上がらないはず。「その地域に防災力が備わっていると感じる」等、聞き方を変えるべきでは。
- ・2-④の成果指標について、2件の成果指標ができています。目標設定や成果設定は増える一方になるから、ひとつにまとめるか、質的に評価をするような感じにするとか、減らす努力も大事。
- ・対応策で「子ども」や「児童」が混在しているため統一を。
- ・3-①の成果指標について、自分にとっての相談先がわかっている割合が一定数いたらいいのではないかと。相談先があるのを知っている」というのは、いろいろな人に情報として知っておいてもらいたいという役所としての目標設定としては正しいのかなと思ったりもしながら、住民側としては、もう自分が孤独じゃない状態にあるということが大事なのかなと思う。
- ・4-②の成果指標について、8割以上は高いなと思う。接客業でも8割以上の方に満足してもらえない。あらゆる住民がやってくる役所が、この結果を求めるのは結構難しいと思う。
- ・1-④(1-③?)のめざす状態について、どこと連携したらいいか地域はわからないため、情報提供をしてほしい。ですからこうやって協働でやっていきたいと思いますという目標なら、そういう連携先とかやっぱり教えてほしい。
- ・長居でやっている子育てサロンには100人くらい来てくれる。そういった小さいコミュニティを大事にしていけないといけないのではないかと。そういう場所で、メールの相談先とかお互い共有できると思う。

・3-③学校・教育コミュニティについて、様々な問題があるが学校の先生だけの努力だけでは難しい。親に対しても色々言っているがコミュニケーションも難しい。ネグレクトみたいなのも多いいうふうに聞いている。先生をサポートしてほしい。

・全校集会で寝そべった子を起き上がらせようとしたら、その対応について手を出したという風と言われるということがあった。先生からしたら、対応のしようがない。

・区役所と地域活動協議会だけで話し合っているだけでなく、地域、町会に情報を降ろしていかないといけない。地域団体といろいろな主体が交流できるコミュニティが実現すれば良いが、中々結束して継続するというところまではいっていない。

・お年寄りもいれば若者もいるような、まつりを作ったらどうかと思う。それをきっかけにコミュニティもできてくる。

区民祭りは、出店や出し物がメインでただ人が集まるだけ。みんなが協力して盛り上げられる住吉区としての取り組みがあればいい。